

ふるさと応援基金活用事業にかかる表示基準

ふるさと応援寄附金を活用している事業であることを広く周知し、市民のシビックプライドの醸成や寄附者様の納得感の向上により、さらなる寄附推進を図るため、ふるさと応援基金を活用した事業の表示に関して、下記の基準を設けています。

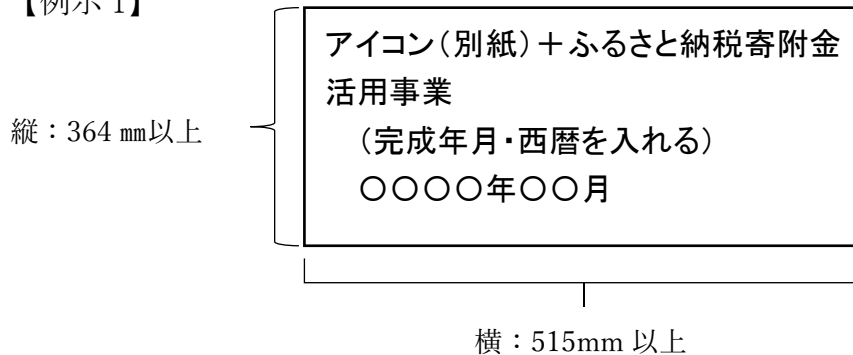
なお、表示内容を確認するため、機械等の購入や工事の発注前（補助金の申請前・申請後のどちらでも可）に表示案ができた段階で、掲示箇所なども含めて市の事前確認が必要です。事前確認には、下記の内容が分かるものおよび掲示箇所が分かるもの（図面、写真などに掲示位置を記したもの）を提出してください。

記

1. 施設・屋外看板等の場合

- ①表示内容：アイコン（別紙）＋ふるさと納税寄附金活用事業 ○○○○年○○月（完成年月・西暦を入れる）※例示1参照
- ②表示サイズ：B3 サイズ以上（縦 364 mm×横 515 mm）以上
- ③文字列方向：左横書き
- ④フォント：MS ゴシック体、100ポイント以上（約 35 mm角以上）の大きさ、黒色、下地は原則、白色とする。
- ⑤設置場所：・建物__施設の入口付近の高さ 1.2～1.5m の視認性の良い位置
・その他__不特定多数の人の通行が最も多く、視認性の良い位置
- ⑥材質：アルミニウム、ステンレス等、耐久性・耐水性・耐錆性・耐腐食性のあるもの（屋外物はシール不可）
- ⑦設置方法：ボルト等で加工・固定

【例示 1】



2. 物品（備品）等の場合

- ①表示内容：アイコン（別紙）＋ふるさと納税寄附金活用備品 ○○○○年○○月（完成年月・西暦を入れる）
- ②フォント：机上備品…MS ゴシック体、14ポイント以上（約 4.9 mm角以上）の大きさ、黒色、下地は白色とし、黒色太枠線囲み
上記以外の大型備品の場合は、38ポイント（約 13.3 mm角以上）以上とする。

- ③文字列方向：左横書き
- ④表示場所：視認性の良い位置
- ⑤材 質：原則、物品に直接印字または塗装印字、刻字

【別紙】

